

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

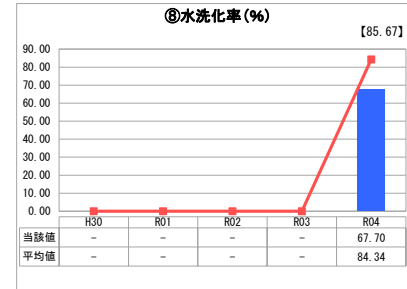
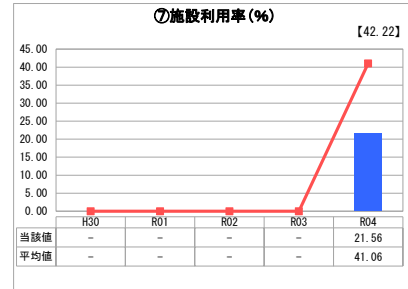
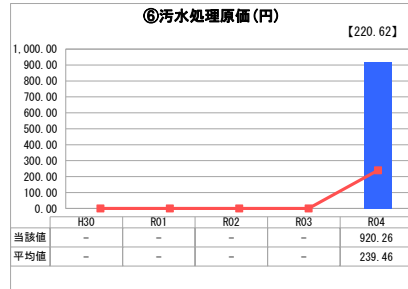
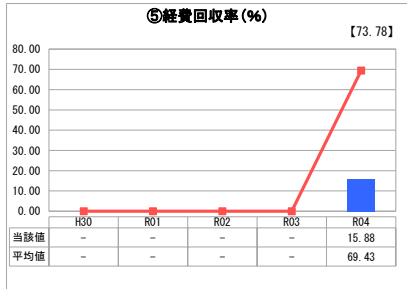
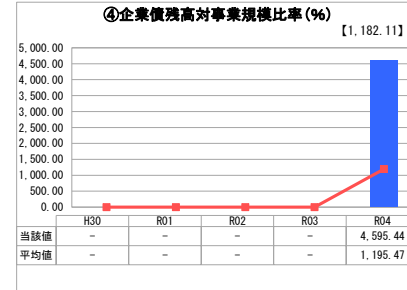
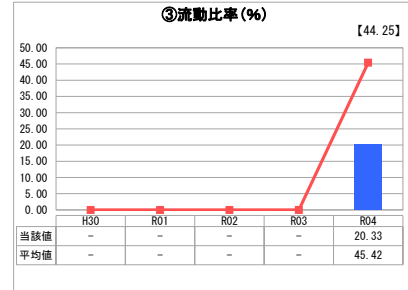
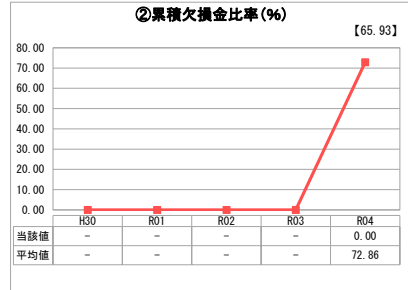
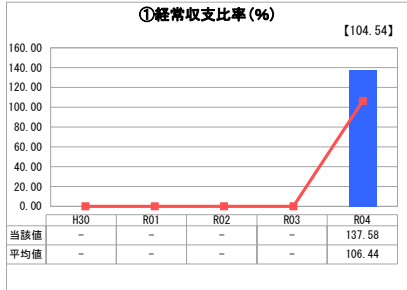
埼玉県 神川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	62.91	9.09	95.00	2,420

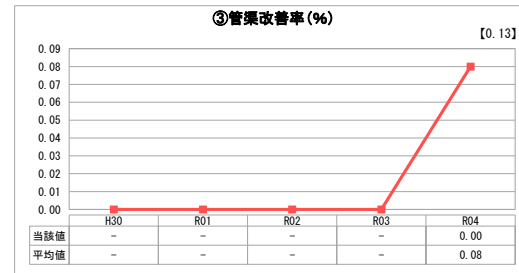
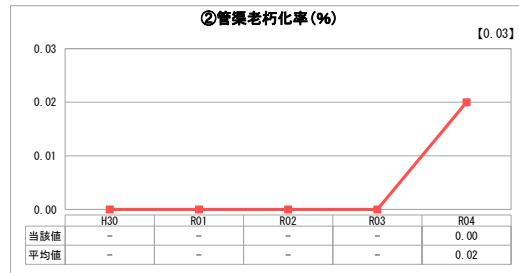
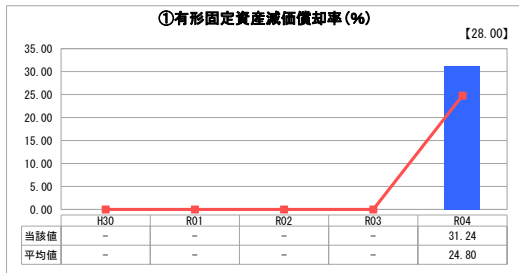
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,122	47.40	276.84
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,189	0.76	1,564.47

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」100%を超えており、類似団体の数値も超えているが、他会計補助金に頼るところが大きいため、接続率の向上、及び使用料収入の増加に努めていく。  
 「②累積欠損金比率」累積欠損金は生じていないが、他会計補助金に頼るところが大きいため、接続率の向上、及び使用料収入の増加に努めていく。  
 「③流動比率」現金預金に対して来年度償還額が大きいため100%を大きく下回り、類似団体の数値も大きく下回っているため、接続率の向上、及び使用料収入の増加に努めていく。  
 「④企業債残高対事業規模比較」類似団体を大きく上回っており、接続率の向上、及び使用料収入の増加に努める。  
 「⑤経費回収率」100%を大きく下回り、類似団体の数値も大きく下回っているため、接続件数の増加と経費削減に努める。  
 「⑥汚水処理原価」類似団体を上回っているため接続率の向上、及び使用料収入の増加に努める。  
 「⑦施設利用率」100%を大きく下回り、類似団体の数値も大きく下回っているため、接続率の向上に努める。  
 「⑧水洗化率」類似団体を大きく下回っているため、啓発活動など接続件数の増加に努める。

### 2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」浄化施設の減価償却費の額が大きいため、類似団体の数値を上回っている。近年は固定資産取得の実績がほとんどなく、使用者数への接続工事が有形固定資産の取得となるため、将来的な償却率は上がっていく。  
 「②管渠老朽化率」「③管渠改善率」については、耐用年数を超えていないので数値がない。

## 全体総括

令和4年度から地方公営企業法を全部適用した。神川町特定環境保全公共下水道事業は、供用開始より17年経過したが、接続件数は頭打ちであり、一般会計補助金が収入の大きな割合を占めている。また、浄化施設の機械電気設備の大部分は耐用年数を経過しており、計画的な施設更新が必要となっている。安定した事業を実現するため、接続率の向上、及び使用料収入の増加に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。